



自主防災組織 をつくりませんか？

① 自主防災組織とは？

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織で、災害による被害を予防し、軽減するための組織です。

自主防災組織→地域活動に欠かせない！

② なぜ必要なの？

大規模災害発生 行政のみでは、救助や
→ 消防活動に限界

自主防災組織を結成し、災害時お互いに助け合うことにより、被害の軽減を図っていく必要性があります。

阪神・淡路大震災→瓦礫の下から救出された人のうち約8割が家族や住民らによるものでした！

③ 共助の重要性

自主防災組織は、地域において「共助」の中核を担う組織です。災害によって地域が孤立した場合等において、普段から生活環境を共有している住民同士の共助が被害軽減のために最も重要です。

共助＝互いに協力し助け合うこと

④ どんな事をするの？

災害時→初期消火・情報伝達・避難誘導・救出、救護・避難所運営 等

平時→防災行事への参加、地域住民参加型の防災訓練を年1回実施 等

市、消防署等へ訓練協力依頼も可能

⑤ 結成の手法

自主防災組織を結成するための主な手法として、①既にある団体（自治会等）を活用する場合、②新たな組織として立ち上げる手法が考えられます。

不明点があれば防災安全課へ相談

⑥ 結成について

市役所へ届出書（指定様式）を提出する必要があります。

なお、新たに結成された自主防災組織に対して、市役所から資器材の補助を行わせていただきます。

無理せず継続的に参加できることが重要

